

令和7年度「本港特別泊地及び本港環境整備施設」

実績報告書

(グループ代表)

スバル興業株式会社

1 収支決算書

別紙「令和7年度本港特別泊地、本港環境整備施設収支決算書」のとおり

2 利用料金収入実績

(単位：円)

	収 入 額			支出額	収支差額
	計	指定管理料	利用料金		
4月	1,636,600	375,000	1,261,600	1,468,646	167,954
5月	1,632,250	375,000	1,257,250	1,785,613	▲153,363
6月	1,580,650	375,000	1,205,650	1,413,084	167,566
7月	1,829,180	375,000	1,454,180	1,419,326	409,854
8月	2,047,740	375,000	1,672,740	1,602,759	444,981
9月	1,582,850	375,000	1,207,850	1,287,707	295,143
10月	1,418,950	375,000	1,043,950	1,393,359	25,591
11月	1,516,590	375,000	1,141,590	1,464,953	51,637
12月	1,425,530	375,000	1,050,530	1,499,170	▲73,640
1月	1,303,320	375,000	928,320	1,615,207	▲311,887
2月	1,373,940	375,000	998,940	1,389,595	▲15,655
3月	1,573,260	375,000	1,198,260	1,300,552	272,708
計	18,920,860	4,500,000	14,420,860	17,639,971	1,280,889

3 施設の利用状況

本港特別泊地（ゲストバース）

月	艇数	金額
4月	119隻	357,400円
5月	119隻	385,900円
6月	131隻	427,600円
7月	161隻	559,100円
8月	168隻	565,800円
9月	110隻	392,000円
10月	66隻	238,600円
11月	81隻	284,100円
12月	41隻	140,600円
1月	42隻	133,200円
2月	35隻	108,000円
3月	55隻	196,500円
計	1128隻	3,788,800円

本港環境整備施設（駐車場）

月	駐車場利用数	金額
4月	2,436台	904,200円
5月	2,278台	871,350円
6月	2,018台	778,050円
7月	2,432台	895,080円
8月	3,055台	1,106,940円
9月	2,292台	815,850円
10月	1,991台	805,350円
11月	2,073台	857,490円
12月	2,548台	909,930円
1月	2,224台	795,120円
2月	2,471台	890,940円
3月	2,925台	1,001,760円
計	28,743台	10,632,060円

4 施設の管理に関する業務実施状況

(1) 施設の維持管理

	業務内容	事業計画に定める作業頻度	実施回数	実施状況
管理	施設の管理を適正に行う 施設内の適正な維持と異常発生時の対応	適宜	適宜	適正に行った
巡視	巡視、異常発見時の処置と安全確保。	午前・午後 1回	毎回実施	適正に行った
清掃	施設及び周辺清掃	1回/1日	毎日実施	適正に行った
植樹林等の維持管理	植栽帯の維持管理 樹木の生育状況点検 病虫害の点検 病虫害の駆除 剪定・除草	適宜 適宜 適宜 適宜	1回/年 7月 3回/年 7月 9月 3月 3回/年 15回/年	適正に行った

保守点検	保守点検、異常発見時の処置	1回～4回 ／年、施設によつて1回 ／月	全ての施設・設備において月1回保守点検を行った	適正に行った ※通常点検は毎日実施した
修繕	施設の保全、維持修繕	適宜	応急的修繕：無	

(2) 施設の運営に関する業務

	業務内容	事業計画に定める作業頻度	実施状況
受付・案内	利用者の受付・案内、届出の受理	適宜	毎日実施
指導	艇の誘導、悪天時の指導等	適宜	毎日実施 気象情報等は口頭及び掲示で利用者へ伝達

(3) 自主事業の実施状況

収入計 5,643,310 円

支出計 3,958,649 円

収支 1,684,661 円

令和7年度自主事業収支内訳

項目	収入	支出	収支
給水サービス	9,000	7,650	1,350
クルージング	0	0	0
レンタルBBQサービス	3,699,310	3,329,379	369,931
海王丸特別泊地一部有償提供	360,000	374,400	▲14,400
駐車場サービス券販売	1,575,000	247,220	1,327,780
計	5,643,310	3,958,649	1,684,661

(4) 苦情・意見等

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	アンケート	その他	月合計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	51	0	51
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	51	0	51

苦情・意見等の内容	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊地利用に伴うご意見 利用料金が高い。 ・ 寄港の予約はできないのか。 ・ 泊地夜間利用への要望（恒例） ・ 港内徐行をしない船による曳波被害 ・ トイレ及び施設内の利用時間を延長希望 ・ ゲストバースで給油が出来ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 艇の大きさに応じた公平な料金改定である旨の説明にて対応。 ・ 現状では、予約はできません。寄港された船から順次係留案内をする。 ・ 規定により 9:00～18:00 の利用時間をご案内。例外は荒天避難及び機関故障艇である旨の説明を実施。 ・ 最徐行での航行を呼びかけるのぼりや、SNS 等での発信を実施。 ・ 警戒船にて港内で最徐行のアナウンスを実施。 ・ 曳波をたてた船長にスマホで撮影をさせて頂いた動画を確認、口頭での注意喚起を徹底。 ・ 海上保安庁へ巡視艇での見張り協力などの実施。 ・ 施設内の時間延長はございません。 ・ 最寄りの給油所の連絡先をご案内。

<p>・うらりマルシェ内のトイレの清掃を増やしてほしい（特に女子トイレ土日・祝日）</p>	<p>・うらりマルシェ側に清掃の頻度を増やせるようお願いをしました。</p>
---	--

(5) アンケート結果

別添資料参照

(6) 運営上の問題等

うらりゲストバースをご利用されますお客様は、ボート・ヨット共に年々少しずつ増加傾向にはあります。プレジャーボートの平均サイズも年々大きくなってきており、近頃では50FT~80FTクラスのご利用も日常となってきました。また、近隣マリーナの横浜ベイサイドマリーナでは大型専用バースも増設しております。また、浦賀のシティーマリーナ・ヴェラシス他大型艇を係留しているマリーナからうらりゲストバースをご利用されに寄港されますお客様も増えて、専属の船長・クルーを配備して現在所有している船のサイズアップをされるオーナーも目立ってきております。

プレジャーボートのデザインも様々であり機能性よりスタイルを重視したデザインのプレジャーボートも年々増えてきている感じがします。特に大型のプレジャーボートは、船体ハル（両舷側）にデザイン重視でアクリル窓等が備え付けてあるプレジャーボートも増え、係留する時に今まで以上に気を使います。ピンポイントで岸壁に常設されているゴムがアクリル窓にぶつかりアクリル窓に亀裂が入る恐れが非常に高いです。まして係留時に使用されるフェンダーサイズが適していない時などは、数に限りがあります大きめのフェンダーを貸し出して対応をしております。

また、ヤマハシースタイル会員になり手軽にレンタルボートを借りてキャストイングやクルージングなどを楽しむお客様も毎年増加傾向にあります。

レンタカーを運転するのと同じような感覚で船を操船される会員様も多く、レンタルボートの操船にあまり慣れていない方々が寄港される時にはスタッフが声掛けや操船サポートして安全に楽しく、うらりゲストバースをご利用できるよう対応をしております。

このように様々なお客様が、うらりゲストバースのご利用を希望されております。

うらりゲストバースについては、限られた係留スペースを無駄が無いようまた、パズルのように寄港されますお客様の艇を安全に係留出来るよう、スタッフが日常係留サポートをしております。

現在も継続して、土日・祝日・GW・ハイシーズン時のうらりゲストバースをご利用されますお客様へのお問い合わせ時に、寄港を①11時頃と②14時頃の2パターンで12時頃の寄港に集中を避けるために、アナウンスをさせて頂き多くのオーナーがうらりゲストバースをご利用して頂けるよう工夫をしております。こちらのアナウンスについては、

ご利用時間を分散してご利用して頂けるよう少しずつお客様にご理解をして頂けるようになってまいりました。

また、引き続き三崎マリンセンターHPのライブカメラで、うらりゲストバースの混雑状況も見る事が出来ることもアナウンスをしております。

それでも寄港される時間によっては、特に大型艇でのご利用のお客様を受入出来ずに他の係留可能な場所へ行ってしまいう残念なケースもあります。

また、大型の船が係留してしまうと船のサイズが違いすぎて、安全に小型の船を横抱き出来ずにゲストバースのご利用を諦めて頂くケースもあります。

また、三崎港内を初めて航行され徐行されないお客様も昨年以上に増加している中、うらりゲストバースをご利用されておりますお客様が、船から落水や船上でケガ等をされないよう、継続してベイマリーナ城ヶ島と協力をして警戒船にて「港内徐行協力」のアナウンスを船上より行っています。

事前の電話によるお問い合わせにおいては、うらりゲストバースのご利用にあたりご説明の中で、港内徐行のご協力をお願いしております。昨年よりは曳波をたてて入港されるお客様が少し減ったように感じられます。その反面うらりゲストバースを利用されないお客様は三崎港内航路を徐行せずかなりの速力で航行するため、うらりゲストバース岸壁に曳波が跳ね返り係留されているお客様にご迷惑をかけております。

また、岸壁からの港内徐行ののぼりや拡声器また SNS やホームページによる注意喚起も引き続き行い、今年からはゲストバースをご利用される船において曳波を起こした船長には、寄港時自船で起こした曳波をスマホで撮影をさせて頂き、実際にその映像をご確認して頂き、次回からは曳波を起こさないようお願いをしております。

また、うらりゲストバース内で横須賀海上保安庁のゼロ事故キャンペーン協力時に意見交換を随時行いプレジャーボート・ヨットの三崎港内での安全航行に伴う警戒の協力をお願いして行きます。

こちらは、毎年のように気になる案件ですが、うらりゲストバースをご利用されますお客様は、近年小さな子供や高齢の方や女性の方も多くなって来ております。うらりゲストバースは岸壁なため潮位が大潮の時、また大潮でなくとも船からの乗り降りが困難であります。特に4月・5月の大潮の日などは安全な乗降りが本当に難しく、怖く感じてしまいます。安全・安心にうらりゲストバースをご利用出来るよう将来的にバリアフリーへの対応を毎年のことですが希望致します。

また、観光客の数も増加しており特に春から初夏にかけて交流広場やボードウォーク等、外で食事を楽しまれる観光客の食べ物をトンビにとられる観光客も多いため、うらりマルシェの館内放送や水中観光船の拡声器等を利用して注意喚起のアナウンスをおこなっ

ております。また掲示物や口頭でもご案内しております。

その反面わざとトンビに餌をあげているところを SNS に投稿されている観光客もいます。根気よく注意喚起に努めてまいります。

また、うらりゲストバースに寄港後係留時、特に干潮時に使用致します岸壁に常設されているハシゴがいくつか状態が悪い箇所があるため、現状の調査をして東部漁港事務所へ調査書類を提出しております。ようやく、一部新品に交換されましたが、全部が新品に交換されるまでには時間がかかりそうです。それまでは、干潮時や緊急時においてハシゴを利用しての安全に船舶から乗り降りが難しいですが、スタッフによるサポートを心掛けて行きます。

また、夜間にうらりゲストバースで釣りをする人が増えてきております。夜間に釣りをしてゴミや、釣りの仕掛けを捨てないで放置していたり、コマセでボードウォークや岸壁を汚したままだったり釣り人のマナーの悪さが目立ちます。出来ればうらりゲストバースでの釣りは、残念ですが禁止にして頂きたいと思えます。

また、日中のうらりゲストバースで釣りをする人に対しては、釣りの仕掛け・エサ等については必ず責任を持ってゴミを持ち帰って頂くのと、汚した場所は綺麗に清掃をして頂くようお願いをしております。

また、交流広場駐車場ですが区画が狭いためサイズの大きい車が区画線をまたいで駐車してしまう事も多くあり、他の車が駐車出来ない事も多くあります。

天候が良い時は、うらりマルシェ周辺や交流広場・ボードウォークなど犬の散歩をされるお客様も多く、マナーを守らないで犬のふんを放置していかれる飼い主が目立ちます。飼い主に犬のふんを放置しないよう案内等掲示をしております。また、直接目にした時にはきちんと持ち帰って頂くようお願いをしております。

(7) 県との主な連絡調整等の状況

主な報告の手段は日報並びに月次報告書にて行っている。

その他、改善要望点など、ご相談する機会を適宜に頂いております。

(8) 事業計画書に掲げた特色ある取組の実施状況

特別泊地における案内・誘導業務では、これまでのノウハウを活かしたサービスを引き続き継続して提供しております。適切及び安全な案内誘導をはじめ、係留ロープ及びフェンダー（防舷材）を定期的に新しい物に入替増やし、無料貸し出しも継続しております。通常利用や荒天避難で入港されるお客様からも変わらず高い評価を頂いております。

また、強風荒天時に避難入港されましたお客様には、気象海象についても最新情報等のご案内をして安全な係留・出港をサポート継続していただいております。

また、離着岸時操船が慣れていないお客様には、離着岸及び操船補助を行い安全にうらりゲストバースをご利用して頂き、次回もリピーターでご利用頂ける様心掛けております。

また、施設の利用については、定められた利用規則及び利用料金をお客様に分かりやすく提示し、平等利用の確保を継続して心がけております。

地域連携への取り組みとして、「三崎・城ヶ島花火大会」「三崎港町まつり」「三崎漁港一斉清掃」「海上殉難者慰霊祭の灯籠流し」等各種地元イベントや釣り大会など積極的に協力をする事を努め、周辺地域貢献と施設利用率向上に貢献することを継続しております。

また、㈱三浦海業公社とスバル興業㈱と合同で津波避難訓練・普通救命講習会・消防通報訓練・AED講習会・観光船の安全訓練を定期的にこれからも実施し災害時に慌てないスムーズな対応が出来るようスキルアップをしてまいります。また、接客セミナーの受講をすることによりサービス業における様々なお客様からのクレーム等の対応も速やかに出来るようにしてまいります。

「水難救済会・横須賀消防・小型船舶安全協会安全指導員」等当該施設を利用した、イベント・合同訓練等、今後も協力体制を継続してまいります。

HPも新しくリニューアルをしSNSを活用して、各種イベント最新の情報やお知らせ等を利用者へ発信しております。また、ライブカメラでうらりゲストバースのご利用状況等リアルタイムで見れるサービスも継続しております。

HPに「みうら・みさき海の駅」入港案内もYouTube映像を掲載しております。

うらりゲストバースを初めてご利用されますお客様へは、HPにおいて東京湾・相模湾からの三崎港うらりゲストバースへの入港案内を動画で見れるように施設案内をしております。

(9) その他（自己評価、今後の課題等）

（自己評価）

4月に入り、春休みも終わり、前半は雨も多く観光客の来場者も少なく感じました。後半は、ゴールデンウィークもはじまり汗ばむ陽気の中、交流広場でバーベキューを楽しんだり、うらりマルシェで買い物や渡船に乗って城ヶ島プチ船旅や水中観光船で水中散歩を楽しまれる、たくさんの観光客で賑わいを見せておりました。

また、イベント関係では「三浦ゴスペルフェスティバル」や今年も恒例となりました、東京湾カップ「三崎・横濱ヨットレース」開催に伴いゲストバースの受入れ協力を行いました。

その他、YAMARIYA 釣り教室&バーベキュー開催協力を行いました。

また、ゴールデンウィーク中は、三崎港ロータリー付近も駐車場待ちの車で渋滞も発生しておりました。

また、観光客の増加に伴いうらりゲストバースでトンビに餌をあげている観光客も増えてきたため、トンビに餌をあげないように注意喚起を何回も行いました。

また、うらりマルシェで食べ物を買って食べ歩きをしているところを、トンビに食べ物を取られてしまった観光客も多く、トンビに注意するよう声掛けやうらりマルシェで館内アナウンスや観光船でのアナウンスで注意喚起を行いました。

5月に入り、今年のゴールデンウィークは、昨年とは違い大型連休ではなかった為、近場や日帰りで連休を楽しむ傾向だったようで、三崎にも多くの観光客が訪れました。

うらりマルシェで買い物や2Fのテラスデッキで潮風を感じながらのんびりされる観光客で賑わいを見せておりました。特に5/3（土）・5/5（月）は水中観光船や城ヶ島を散策目的とされる観光客やゲストバースをご利用されますお客様また交流広場でバーベキューを楽しまれるお客様でとても賑わいを見せた今年のゴールデンウィークでした。

ゴールデンウィーク中は、海上保安庁によるゲストバースご利用者への安全パトロールに協力をしました。

ゴールデンウィークあとは、残念ながら毎週末が雨天・強風・うねりなど悪天候が影響して、ゲストバースをご利用されますお客様やうらりマルシェで買物をされる観光客も少なく交流広場駐車場もご利用のお客様が少なかったです。

また、5/1に海上保安庁によるレスキュー対応に伴う、ゲストバース受入れ協力を実施。

また、5/16に熱海港の遊覧船「サンレモ」が座礁事故を起こした案件について連絡があり、遊覧船事故について観光船・渡船スタッフと注意喚起・安全運航に伴う、ミーティングを行いました。

その他、5/29にゲストバース水銀灯電球の交換工事が実施されました（浜名電工）

また、5/30に（株）三浦海業公社とスバル興業（株）との合同消防訓練を実施しました。

6月に入り、前半の週末は、天候に恵まれうらりマルシェ・交流広場も賑わいを見せておりました。中旬は学校関係の観光客や団体の観光客も多く感じられ、週末も天候に恵まれ水中観光船・渡船の乗船客やゲストバスをご利用のお客様で賑わっておりました。また、6日は「三浦・伊東ヨットレース」開催に伴いゲストバスの受入れ協力を行いました。また、23日はうらりマルシェ入口でバスツアーのお客様が転倒されたため、救急車の搬入時対応を行いました。

また、24日には運航事業における救助訓練（水中観光船・渡船・レンタルボート）を実施致しました。

また、25日にゲストバス内に流木他浮遊物があったため回収およびゲストバスご利用のお客様および観光船・渡船スタッフへ注意喚起を行いました。

また、28日は「マルイカパーティー」釣りイベント開催に伴いゲストバス受入れ協力を行いました。当日は参加110組220名の来場もあり天候にも恵まれ早朝からイベント終了まで大変盛り上がっていました。

また、29日はゲストバスご利用のお客様が、港内を徐行しないで曳波を立てて入港してきたため、入港時の映像をスマホで撮影をさせて頂きました。その映像をお客様にお見せして次回からは、港内の徐行をお願い致しました。

また、先月に続きうらりマルシェで食べ物を買って食べ歩きをしているところやバーベキューをしている時に、トンビに食べ物を取られてしまった観光客も多く、トンビに注意するよう声掛けやうらりマルシェで館内アナウンスや観光船でのアナウンスで注意喚起を行ってまいります。

7月に入り、三崎では平均最高気温が31.6度を記録し、真夏日が続いているが週末は多くの観光客でうらりマルシェ・交流広場も賑わいを見せておりました。

また、台風5号の接近に伴い、7/1～7/16の3日間は観光客も少なく、台風の影響の為ゲストバスをご利用されますお客様もいませんでした。また、台風対策および見回りを実施致しました。台風通過後も特に施設等問題はありませんでした。

また、後半に入ると夏休みともあり観光客の来場者数も増え、水中観光船・渡船に乗船されるお客様や交流広場でBBQを楽しまれるお客様や週末はゲストバスに船で寄港して仲間と海鮮BBQを楽しまれるお客様で賑わいを見せておりました。

また、夏休みでゲストバスご利用のお客様が増え、港内を徐行しないで曳波を立てて入港してきたため、入港時の映像をスマホで撮影をさせて頂きました。その映像をお客様にお見せして次回からは、港内の徐行をお願い致しました。

また、ゲストバスをご利用しない船舶が、三崎港内を徐行しないで猛スピードで走行して行く船舶も増え保安庁および水上警察に港内徐行アナウンスを強化して頂くよう協力依頼を致しました。

また、7/18に関東運輸局による、夏季輸送安全総点検実施（水中観光船・渡船）。

7/30にカムチャッカ半島での地震発生が影響して相模湾・三浦半島にも津波警報が発生したため、施設の点検および周辺の確認後スタッフの安全確保の為一時、高台へ避難指示を致しました。うらりマルシェ館内運休および水中観光船・渡船も即運休対応となり

ました。三崎港には約 20 c m 程度の津波が到着しただけで、津波による事故トラブルの発生はありませんでした。

8 月に入り、三崎では、8/1 に台風 9 号の接近また、お盆中の 8/11・8/12 は強風の為、残念ながらゲストバースをご利用されますお客様もほとんどありませんでした。また、猛暑日が続く中お盆中旬からは天候にも恵まれ、観光客の来場者数も増え、今年は、「京急三崎まぐろキップ」を利用して遊びに来られる若者が多く見受けられ、水中観光船・渡船に乗船されるお客様や交流広場で BBQ を楽しまれるお客様で賑わいを見せておりました。

また、14 日にはゲストバース内の流木・浮遊物等の回収作業を実施致しました。

また、16 日三崎港内での海上殉難者慰霊祭開催に伴い、渡船での灯籠流し協力を致しました。また、港内を徐行しないで曳波を立てて入港して来られる船は 7 月と同様多く、入港時の映像をスマホで撮影をさせて頂き、その映像をお客様にお見せして次回からは、港内徐行して頂くよう丁寧な説明で対応をしております。

また、ゲストバースをご利用しない船舶が、三崎港内を徐行しないで走行して行く船舶も増え、保安庁および水上警察に港内徐行アナウンスを強化して頂くよう協力依頼を 7 月に引き続き致しました。

また、ゲストバースの利用については、近隣マリーナでは猛暑も影響して出港艇数が少ない中、最後の週末も天候に恵まれたこともあり、去年は（ボート 83 隻・ヨット 49 隻）でしたが今年は（ボート 121 隻・ヨット 49 隻）と大きな事故も無く実績を伸ばす事が出来ました。

9 月に入り、三崎では、台風 15 号の接近に伴い台風対策を実施しました。台風での事故トラブルはありませんでした。台風通過後のゲストバース内の漂流物等の回収を行いました。また、荒天の影響もあり前半は、残念ながらゲストバースをご利用されますお客様は少なかったように感じられました。また、猛暑日にもかかわらず週末になると、観光客の来場者も増え、「京急三崎まぐろキップ」を利用して遊びに来られる観光客が多く見受けられ、水中観光船・渡船に乗船されるお客様や交流広場で BBQ を楽しまれるお客様で賑わいを見せておりました。

また、8 月と同様にゲストバースをご利用しない船舶が、三崎港内を徐行しないで猛スピードで航行して行く船舶も増え、ゲストバースをご利用されているお客様の船舶が曳波で岸壁に強くぶつかりそうになったりしている為、保安庁および水上警察に港内徐行アナウンスを強化して頂くよう協力依頼を引き続き致しました。

また、ゲストバースの利用については、去年は（ボート 69 隻・ヨット 37 隻）でしたが今年は、（ボート 79 隻・ヨット 31 隻）と昨年よりボートの隻数が増えましたが、小型のボートが多く寄港されるのが目立ちました。大きな事故も無く実績を伸ばすことが出来ました。

また、25 日はスバル興業（株）の経営トップによる安全パトロールを実施致しました。ゲストバースや運航事業に伴う安全管理備品について指導がありました。

また、28日「芋煮ロックフェスティバル」イベントが、開催され多くの観光客で夕方まで賑わっていました。

10月に入り、三崎では、4日に「みうら・みさき海の駅」海業フェスタ開催協力に伴い、モーターボート無料体験クルーズの運航協力をしました。当日は、小雨まじりの天候でしたが、乗船されたお客様は20分程度のプチ・クルージングを楽しみいただきました。また、10月前半は、台風22号などの接近に伴い、台風対策を実施致しました。台風での事故トラブルはありませんでした。今月も、「京急三崎まぐろキップ」を利用して遊びに来られる観光客も多く、水中観光船・渡船に乗船されるお客様や交流広場でBBQを楽しまれるお客様で賑わいを見せておりました。

月の後半は、週末を中心に雨天や強風の影響を受け、ゲストバースをご利用されますお客様は少なく感じられました。

未だにゲストバースをご利用されますお客様が、港内を徐行しないでゲストバースに着岸をしようとして、自船の曳波で着岸時にぶつかりそうになったりしています。

また、他のゲストバースをご利用されているお客様に迷惑をかけてしまう事が継続して発生しております。根気よく港内を徐行しないお客様については、丁寧な対応で注意喚起をまいります。

その他交流広場東屋の海側木部に破損箇所があったため、巡回をしていた東部漁港事務所担当者に現場報告を致しました。また、うらりゲストバース、岸壁ハシゴ交換場所点検・確認（東部漁港事務所による）対応を致しました。

11月に入り、三崎では、バスツアーの団体客や城ヶ島の散策を楽しむ観光客が増加し、水中観光船・渡船に乗船される観光客で賑わっていました。さらに毎週末にはイベントも開催され、三崎全体が活気に溢れた1か月となりました。6日は、「ビッグレスキュー」リハーサル訓練実施に伴う観光船の運航時間調整協力を行いました。8日は、毎年恒例の「うらり城ヶ島ヨットレース」が開催され、レース本部艇の運営に協力をしました。レース当日は、15艇の参加があり天候にも恵まれ、活気のあるレースとなりました。11日には、「釣りジェンヌ・カワハギ大会」の開催に伴い、ゲストバースの受入れ協力を行いました。当日は、女性アングラ180名が参加してとても華やかでした。16日には、「新米杯・カワハギ大会」の開催に伴い、ゲストバースの受入れ協力を行いました。当日は、383名の参加者が集まりました。両日も多くの釣りファンで賑わい三崎の海は活気で盛り上がっていました。

また、23日には、「三崎港町まつり」の開催に伴い、水中観光船・渡船の特別運航や昨年は中止となった、社有艇でのモーターボート無料体験クルーズの運航協力を行いました。当日は、乗船されたお客様のほとんどがご家族連れで、20分程度のプチ・クルージングを満喫されました。また、交流広場では魚のタッチプールや保護犬と触れ合いが出来るなど、たくさんの子供たちが楽しんでいました。また、夜は「三崎・城ヶ島花火大会」開催に伴い、警戒船（2艇）の警戒船運航業務協力を行いました。

また、ゲストバースをご利用されますお客様が、港内を徐行しないでゲストバースに着

岸しようとして、自船の曳波で着岸時に岸壁にぶつかりそうになったりしています。根気よく港内を徐行しないお客様については、丁寧な対応で注意喚起をしております。

12月に入り、三崎では、急に寒さも増しバスツアー団体や、一般観光客の来場者も減りました。平日のうらりマルシェや交流広場・BBQ・水中観光船・渡船を利用される、観光客の来場も少なく寂しい三崎でした。その反面、年末はビッセールスやお正月の買い出しに来られる、家族連れも多く特に年末の5日間は、連日賑わいを見せておりました。特に、年末セール時は、うらりマルシェ付近は、駐車場待ちの車で連日渋滞も発生しておりました。

また、未だにゲストバスをご利用されますお客様が、港内を徐行しないでゲストバスに着岸しようとして、自船の曳波で着岸時に岸壁にぶつかりそうになったりしています。根気よく港内を徐行しないお客様については、丁寧な対応で注意喚起をしております。

また、15日に社有艇（スバル）で、レンタルボート（スバル）を利用して、突然の三崎港内での船舶トラブルに緊急対応出来るよう、曳航操船訓練を行いました。（浦安マリーナ・三崎合同）

また、うらりゲストバスのご利用者も、平日および週末とともに強風や雨天などの影響もあり、昨年より利用実績を伸ばす事が出来ませんでした。

うらりゲストバスの利用実績は、昨年（ボート）53隻・（ヨット）12隻。今年は（ボート）32隻・（ヨット）9隻となりました。

31日に、うらりゲストバス・マスコット看板 SNS 撮影用（スバル）お色なおしをしました。元旦から、お客様に気持ち良くマスコットと一緒に撮影に使って頂けるように、スタッフでお色直しをしました。

1月に入り、新年のスタートは新年恒例イベント「初日の出クルーズ」（株）三浦海業公社・スバル興業（株）合同開催協力を行いました。当日は、厚い雲の隙間からようやく初日の出を望むことが出来ました。帰港時には、雪化粧の綺麗な富士山も拝むことが出来、常連のお客様からも今年も見れて良かったと喜んで頂けました。

また、正月休みは天候にも恵まれ、多くの来場者にお越し頂き、うらりマルシェ・交流広場・水中観光船・渡船・ボードウォークも賑わいを見せておりました。また、海南神社へ海上祈願に訪れるお客様も多く、お正月のゲストバスは、大変賑わっていました。また、「110番の日」に「うらり交流広場」で三崎警察署広報活動によるイベントが開催され、「ミニチュアのなぎさちゃん」が1日署長として市民や多くの観光客との交流をし、賑わっていました。

しかし、3連休以降は強風や強烈な寒波の影響を受け、来場者が激減し昨年より利用実績を伸ばすことが出来ませんでした。うらりゲストバスの利用実績は、昨年（ボート）44隻・（ヨット）30隻。今年（ボート）20隻・（ヨット）22隻となりました。

2月に入り、上旬は寒気の影響で来場者数が少なく、三崎はやや寂しい状況が続きましたが、一方で月の後半は天候にも恵まれ、三浦海岸の河津桜も徐々に開花し、三浦海岸桜まつりに合わせて訪れる観光客や読売旅行バスツアー、京急まぐろキップを利用して来られた若い観光客も昨年より増加傾向で、水中観光船・渡船に乗船される観光客やうらりマルシェで、旬の野菜など買われる観光客や、交流広場でBBQを楽しまれるお客様も多く賑わいを見せておりました。

また、三崎港バスロータリー付近も駐車場待ちの車で渋滞も発生しておりました。

駐車場の利用実績は、昨年 2,361 台：今年は 2,471 台と増加傾向でした。

また、3連休は残念ながら、強風や波浪注意報の影響を受け、うらりゲストバスの利用実績は、昨年（ボート）50 隻・（ヨット）11 隻。今年（ボート）26 隻・（ヨット）9 隻となりました。昨年より実績を伸ばす事が出来ませんでした。

また、うらりゲストバス岸壁の緊急時用や干潮時に使用する岸壁用ハシゴが経年劣化で腐食が酷く、安全に使用することが出来なかったですが、一部新品に交換作業が実施されました。これに伴い安全にお客様が緊急時や大潮の干潮時にご利用することが出来るようになり、お客様からも評価を頂きました。

3月に入り、三浦海岸桜まつりの終了後も天候に恵まれ、週末は多くの観光客で賑わいました。バスツアーによる団体客に加え、京急まぐろキップを利用した若い観光客も増加傾向が続き、水中観光船・渡船に乗船される観光客やうらりマルシェで、旬の野菜など買われる観光客、交流広場でBBQを楽しまれる観光客も先月同様に多く賑わいを見せておりました。

また、週末になると三崎港バスロータリー付近も駐車場待ちの車で渋滞も発生しておりました。

また、3/19（木）～3/22（日）まで「ジャパン・インターナショナル・ボートショー」が開催され、今年は3連休点呼にも恵まれな中、ボート・ショーに行かれなかった、お客様がのんびりとゲストバスをご利用されるなど賑わいを見せてました。

駐車場の利用実績は、昨年 2,654 台：今年は 2,925 台と増加傾向でした。

また、うらりゲストバスの利用実績は、昨年（ボート）34 隻・（ヨット）21 隻、今年（ボート）32 隻・（ヨット）23 隻となりました。昨年とそれほど差がない利用実績でした。

また、ゲストバス岸壁を日常見回り業務中に、ゲストバス岸壁に船舶が接触して岸壁の一部を破損させた形跡がありましたので、3/18に東部漁港事務所に連絡を入れ、報告および現状の確認をしていただきました。

また、新型コロナウイルス関係なく今年も海のレジャーを楽しまれる方々が年々増加傾向でしたが、台風5号・9号・15号・22号の接近に伴う影響を受け、うらりゲストバスをご利用されましたお客様は、令和7年度：ヨット409隻・ボート719隻の合計1,128隻（令和6年度：ヨット450隻・ボート749隻の合計1,199隻）と昨年よりヨット・ボートともに少し減少した結果でした。

また、船を購入されますお客様の年齢層幅広くなり、高齢の方が少しずつ目立つような感じをしました。

また、昨年と同様にレンタルボートで三崎に寄港されるお客様も増えております。

また、様々なマリーナのマリン倶楽部に入会された会員様が船をチャーターされたり船長・クルー付きで寄港されたり、会員様ご自身で様々な船を選択し、操船され寄港されますお客様も増えてこられました。

また、三崎への来場者数も増加してきている中、インフルエンザ感染・ノロウイルス・感染症胃腸炎など、スタッフの感染予防対策・熱中症対策にも注意をしております。

また、新型コロナウイルスについて 2023.5月8日より「5類」に移行したことに伴い季節性インフルエンザなどと同じ位置づけとなった中、マスクの着用は、個人判断が基本」となり行動制限もなくなりましたが、今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策・インフルエンザ感染予防として、ご来場されますお客様ならびにスタッフの健康と安全確保を目的とした予防措置を考慮し日常生活での基本的感染対策の徹底継続をスタッフ一同行っております。

毎年の事ですが、ヒヤリハット検証では反省すべき点もいくつかありましたので、引き続き危険予知活動を行うことにより日々の安全管理を徹底してまいります。

泊地利用料金につきましては、件数は少なくなりましたが特にヨットでのご利用のお客様から久しぶりにうらりゲストバースをご利用になり、料金内容についてお話はありますが、ご不満はほとんど聞かなくなりました。また、ゴールデンウィーク・ハイシーズン前にご利用が初めてな方からのお問い合わせが多くあります。ご利用時間や係留料金や給油・宿泊場所等案内について様々ですが、利用者様には出来るだけ丁寧な対応でご案内をさせて頂いております。

また、交流駐車場につきましてもクレームはほぼありませんが、ワンボックスカーやキャンピングカーなどをご利用されますお客様も増えて来ている為、駐車スペースが狭く感じられます。

また、今年度も昨年同様に海業公社との連携や情報共有がスムーズに行われ、コロナ禍において新型コロナウイルス感染拡大防止対策・インフルエンザ感染予防措置を取りながら海業フェスタ「みうら・みさき海の駅」・「三崎・城ヶ島花火大会の運営・警戒船業務」・「カワハギ釣り大会」・「うらりマルシェ新年イベント初日の出クルーズ」「稚貝放流・漁協等」「釣り体験教室&バーベキュー大会」「三崎港町まつり無料体験モーターボートクルーズ」等各イベント協力を行いました。主催者から久々にイベントが開催出来たことに大変評価をしております。

また毎年恒例の東京湾カップ「三崎・横濱レース」・「うらりカップ城ヶ島ヨットレース」
共に今年は天候にも恵まれる中、うらりゲストバース受入れ・本部艇対応等開催協力を
致しました。

また「海上殉難者慰霊祭灯籠流し」の船長および船舶チャーターの協力は毎年、台風の
接近に伴い、残念ながら中止となっておりますが、今年は開催することができました。

(今後の課題)

- ・「うらりマルシェ」「うらりカフェ・テイスト」「うらり・バーベキュー」や地元と連携し
た泊地及び駐車場利用率の更なる向上。
- ・三崎漁港内における曳波による被害、トラブル防止の為の安全航行について安全指導。
- ・充実したイベントの開催による利用者へのサービスの向上。
- ・海の駅繋がりイベント開催
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策・予防措置・熱中症対策を取りながら安心して参
加が出来る海辺のイベント開催。
- ・HP を利用した情報発信。